

日本原子力学会 標準委員会 システム安全専門部会 水化学管理分科会
第81回 PWR水化学管理指針作業会 議事録

1. 日 時：2024 年 10月 18 日（金）13:30 ～ 15:50

2. 場 所：JANSI B会議室 + WebexによるWeb会議

3. 出席者（順不同、敬称略）* Web出席

委員）中野（信）、莊田、宮永*、大橋、山本*、梅原、佐藤（柴田代理）、中野（佑）、
長嶺、以上 9名

常時参加者）山崎（慎）*、前田^記 以上 2名

オブザーバ）中浜、一丸、山崎（樂）*、小松* 以上 4名

4. 配布資料

P11PWG-81-0 議事次第

P11PWG-81-1 第79 回PWR 水化学管理指針作業会議事録（案）

P11PWG-81-2 人事について

P11PWG-81-3-4-1 1次系水化学管理指針 改定項目整理表

P11PWG-81-3-4-2 1次系水化学管理指針 コメント対応一覧表

P11PWG-81-3-4-3 1次系水化学管理指針 改定案

P11PWG-81-3-4-4 1次系水化学管理指針 新旧比較表

P11PWG-81-3-4-5 1次系水化学管理指針 中間報告案

P11PWG-81-X 2次系水化学管理指針 改定項目整理表（案）

5. 議事要旨

(1) 出席者確認

中野主査より出席者の確認があった。代理を含む委員9名の出席を確認し、7人以上の定足数を満足していることから、本作業会は成立することが確認された。また、オブザーバとして、中浜、一丸、山崎（樂）、小松の4名の出席が承認された。

(2) 前回議事録確認

中野主査より、資料「P11PWG81-1 第80回PWR水化学管理指針作業会議事録(案)」について確認があった。作業会終了までに出席者からのコメント・修正は無く、正式版として承認された。

(3) 人事について

中野主査より、資料「P11PWG81-2 人事について」に基づき、常時参加者として小松氏（三菱重工）の登録申請があったことが説明され、出席委員全員の承認により、常時参加者として登録されることとなった。

(4) 一次系水化学管理指針の改定内容検討

① 試料採取配管3倍量ページの改定文案

前田常時参加者および山崎オブザーバより、資料「P11PWG-81-3-4-4 1次系水化学管理指針 新旧比較表」に基づき、前回第80回作業会で説明された試料採取配管3倍量ページに関する記述の修正案について説明があった。主なコメント/決定事項は以下の通り。

- ・ 3倍量ページの考え方について、管壁部の割合をより小さく見積もることで、3倍ページ後濃度はよりページ水濃度に近くなるが、管壁部の割合の閾値は明確に設定できるものでもなく、小さくすることで非安全側になる可能性が否定できないこと、また、実際は主流部と管壁部の界面でせん断混合が生じることで十分にページ水と置換されることから、現状の管壁部のままの記載とすることとした。
- ・ 今回の改定で見直したモデルについては、何れも3倍量ページが妥当かつ安全側評価であることを文章からも読み取れるよう、資料「P11PWG-81-3-4-4 1次系水化学管理指針 新旧比較表」109/117ページ最終段落「以上では、物質移動の・・・算出し、3倍量ページの妥当性を補強する」の記載を見直すこととした。

上記コメントの反映文案については、次回作業会までに検討することとし、10/25予定の水化学管理分科会では現状の文案で審議いただくことで合意した。

② 一次系水化学管理指針の改定内容検討状況

前田常時参加者より、資料「P11PWG-81-3-4-2 コメント対応一覧表」、「P11PWG-81-3-4-4 新旧比較表」に基づき、指針の改定に関する検討状況について確認があった。主なコメント/決定事項は以下の通り。

- ・ 本年度に予定されているJIS Z 4001（原子力用語）の廃版対応については、現在議論が進められている標準委員会の標準活動基本戦略タスクの状況や他標準の動向等も考慮し、今後、対応を検討することとした。
- ・ 不適切な改行位置について、適切な箇所になるよう修正することとした。

③ 一次系水化学管理指針の改定に関する中間報告資料

前田常時参加者より、資料「P11PWG-81-3-4-5 1次系水化学管理指針 中間報告案」、について説明があった。出席者から特にコメントはなく、10/25に予定されている水化学管理分科会にて審議いただくこととした。

(5) 二次系水化学管理指針改定要否検討

莊田副主査より、資料「P11PWG-81-X 加圧水型原子炉二次系の水化学管理指針 改定項目整理表（案）」に基づき、電力各社から寄せられた改定要否希望の整理結果について説明があった。主な決定事項は以下の通り。

- ・ 次々回の分科会に向けて「技術的な要改定項目」と「エディトリアルな修正」を区別した整理を進めることで合意した。

(6) その他

- ・ 次回の作業会の開催日程は、分科会や専門部会の日程を考慮して後日決定することとした。
- ・ 柴田委員（北海道電力）の委員交替に関する審議について、次回作業会における要望があり、準備を進めることで合意した。
- ・ 中野主査より、委員からの意見として今後の作業会の運営効率化の相談があったことが紹介があり、会議時間の短縮化を目的に審議すべき点を明確にすることや、事前のメール審議などを交えることで効率に進められるのではないかといった意見があった。次回の作業会以降で随時取り入れ、適宜、改善していくことで合意した。

以 上